

平成29年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点 [事例問題1]

問1 起案

- 1 差止請求、廃棄請求に関する、請求の趣旨に対する答弁の内容
- 2 被告製品の特定（原告案に対する対案の提示）
- 3 非充足論（クレーム文言解釈、被告製品との対比）
- 4 均等論（第1要件の規範及び当てはめ、第5要件の当てはめ）

問2 小問

- (1) 債権譲渡の対抗要件 債権の二重譲渡の優劣
- (2) ア 具体的態様の明示義務（特許法第104条の2）
 - イ ① 侵害行為立証のための書類提出命令（特許法第105条第1項本文）
 - ② 正当理由（特許法第105条第1項但書）
 - ③ インカメラ手続、相手方当事者等への開示（特許法第105条第2項）